

今年も e-Tax

篠崎 辰夫

今年も確定申告の時期が来た。e-Tax は毎年手こずって、昨年ようやくスムーズに申告できたが、それでもまだまだ e-Tax はややこしい。

税務署からお知らせメールが届いたので、国税庁のホームページを開いてみた。なんと

『平成 31 年（2019 年）から、いつでもどこでもスマホで申告。スマートフォン・タブレットから、所得税の確定申告書が作成できるようになります』
というキャッチコピーが目飛び込んで来た。

パソコンであれだけ手こずったものがスマホで出来るなんて、相当簡略化され、簡単に入力できるようになったのかと、期待したが・・・。

スマホ申告の対象は、給与所得者（年末調整済み）で、医療費控除又はふるさと納税などの寄附金控除を適用している申告者のみ。我々には関係ない。

それも、そのための「ID・パスワード」を、税務署で職員と対面による本人確認を行った後に取得する必要がある。

「いつでもどこでもスマホで申告」なんて、過大コピーもいいところ。我々申告者との感覚のずれが、いまだ修正されていないようだ。

お知らせメールにあるメッセージボックスを開こうと、アドレスをクリックしたが、ブラウザが環境外として、エラー。まだ e-Tax は、ブラウザが「IE:Internet Explorer」のみで、日頃利用している「Google Chrom」や「Edge」では起動しない。いちいちブラウザを開き直さねばならない。

スタートからまたいやな予感がするが、具体的申告は 2 月に入ってからやることにして、その模様は次号で報告したいと思います。

詳しくは国税庁のこちらのページをご覧ください。

https://www.nta.go.jp/publication/pamph/pdf/kojin_e-tax_riyou2.pdf#search='2019+etax'